

2007.盛夏 世界陸上記念号

北欧の アスリート達 駆ける夏

スタジアム

KAGAWA PREFECTURAL MARUGAME STADIUM



IAAF世界陸上2007大阪北欧4カ国香川合宿

合宿予定日：2007年8月14日(火)～28日(火)

見学予定時間：午前9時～11時・午後5時～7時

合宿場所：香川県立丸亀競技場・丸亀市陸上競技場



第11回IAAF世界陸上競技選手権大会(通称:世界陸上大阪大会)は2007年8月25日(土)～9月2日(日)までの9日間、大阪市長居陸上競技場で開催されます。

世界陸上大阪大会には、世界212の国と地域から、約3200人の選手・役員が参加し、約200カ国でテレビ放映され40億人以上の人々が、その熱い戦いに注目すると見込まれます。

デンマーク王国 DENMARK 人口：540万人 首都：コペンハーゲン 自然/歴史： サンタクローズなど 文化：アンデルセン・ チボリ公園など 産業：レゴ、ロイヤルコ ペンハーゲン	フィンランド共和国 FINLAND 人口：520万人 首都：ヘルシンキ 自然/歴史： 森と湖の国 オーロラなど 文化：サウナ・ムーミン 産業：キシリトール、 ノキア	ノルウェー王国 NORWAY 人口：470万人 首都：オスロ 自然/歴史： フィヨルド、氷河 など 文化：ノーベル平和賞の 選定、ムンク 産業：漁業国	スウェーデン王国 SWEDEN 人口：900万人 首都：ストックホルム 自然/歴史：ヴァイキン グなど 文化：福祉国家、ノーベ ル賞、ABBA 産業：イケア、サーブ、 ボルボ
---	---	--	--

香川合宿観戦のポイント!!

①世界の有力選手がやってくる!!

北欧4カ国には世界ランキング上位の選手がたくさんいます。例を挙げると

- 男子**
- ヨアキム・オルセン(デンマーク)
砲丸投 21m63 (2004年)
2004アテネ五輪(銅)メダル
2005世界陸上ヘルシンキ大会7位
 - テロ・ピトカマキ(フィンランド)
やり投 91m53 (2005年)
2005世界陸上ヘルシンキ大会(銀)メダル
2006ワールドファイナル2位
 - アンドレアス・トルキルセン(ノルウェー)
やり投 91m59 (2006年)
*世界ジュニア記録保持者
2004アテネ五輪(金)メダル
2004ワールドファイナル2位
2005世界陸上ヘルシンキ大会(銀)メダル
 - ステファン・ホルム(スウェーデン)
走り高跳 2m40 (2005年)
2003世界室内(金)メダル
世界陸上パリ大会(銀)メダル
2004アテネ五輪(金)メダル
2005世界陸上ヘルシンキ大会7位
 - オッリベッカ・カルヤライネン(フィンランド)
ハンマー投げ 83m30 (2004年)
1999欧州ジュニア(金)メダル
2005世界陸上ヘルシンキ大会5位

- クリスチャン・オルソン(スウェーデン)
三段跳 17m83 (2004年)
2003世界陸上パリ大会(金)メダル
2004アテネ五輪(金)メダル
2004ワールドファイナル(金)メダル
2004世界室内(金)メダル

- 女子**
- スザン・ヴィグネ(ノルウェー)
長距離 10000m30分32秒36 (2006年)
2005世界陸上ヘルシンキ大会13位
2006欧州選手権(銀)メダル
 - カイサ・ベリクヴィスト(スウェーデン)
走り高跳 2m08 (2006年)
2001世界室内(金)メダル
2003世界室内(金)メダル
2005世界陸上ヘルシンキ大会(金)メダル
 - カロリナ・クリュフト(スウェーデン)
7種競技 7001点 (2003年)
2003世界陸上パリ大会(金)メダル
2004アテネ五輪(金)メダル
2005世界陸上ヘルシンキ大会(金)メダル

他にもたくさんの選手が来県する予定です

②間近で見られる!!

世界の有力選手をこの距離で見られることは、この先そんなないチャンスです!!
筋肉の躍動感、伝わる汗、息づかいを心に焼き付けてください!!

③交流競技会がある!!

8月19日(日)午後3時～8時(予定)で県内の有力選手と北欧4カ国の代表選手が本番前最後の競技会を行う予定です。
もちろん観戦料は無料です!! 大阪まで見に行くのは…という方も、丸亀でなら大丈夫ですよ

TOPICS

香川県出身の有力選手の紹介

綾 真澄

(丸善工業)

出場種目 **ハンマー投**

data 27歳 1980/01/01生

▼自己ベスト

ハンマー投：67m26
(2006年8月/富山カップ)

▼世界陸上出場 3回目

03パリ 予選A組16位 (60m78)
01エドモントン 予選A組15位 (58m84)

▼主な戦績

06日本選手権 優勝 (65m68)
06アジア大会 銅メダル (62m67)
04全日本実業団陸上 2位 (61m89)
03日本選手権 優勝 (62m79)
02アジア大会 3位 (62m18)
03日本選手権 優勝 (64m45)
01日本選手権 優勝 (62m13)



●07年の主な競技結果

5/5 GP大阪 5位 (64m11)
6/29 日本選手権 優勝 (63m43)
7/15 南部記念陸上 優勝 (63m66)



三津谷 祐

(トヨタ自動車九州)

出場種目 **5000m**

data 22歳 1984/12/18生 166cm・50kg

▼自己ベスト

5000m・13分18秒32
(2007年5月26日/ゴールデンゲームズinのべおか)

▼世界陸上出場 2回目

05ヘルシンキ 10000m 19位(27分57秒67)

▼主な戦績

05日本選手権 10000m 優勝
05唐津10マイル 3位
04世界クロカン 73位
04全日本実業団陸上 5000m 6位
10000m 10位
02世界クロカン 32位

●07年の主な競技結果

04/22 読売記録会 5000m 13分51秒81 2位
04/29 延岡市記録会 5000m 13分36秒75
05/26 ゴールデンゲームズinのべおか 5000m 13分18秒32
06/09 大分ナイター記録会 10000m 29分11秒22 3位
06/29 日本選手権 5000m 13分55秒98 2位

TOPICS

- 出身 県立飯山高校→中京大学→グローバリー→丸善工業
- 中学時代はソフトボール部。高校ではやり投が専門だったが、ハンマー投で日本選手権出場。
- 中京大学では室伏重信氏の指導を受け、急成長をする。室伏重信監督は「回転のセンスがいい」と、綾の資質を即座に看破した。
- ジュニア日本記録……大学2年時に54m59のジュニア日本記録・学生記録。大学2～3年時に3回転から4回転に移行し、3年時には58m87まで記録を伸ばす
- 大学4年時、日本選手権では62m13の日本新で優勝。世界陸上B標準をクリアし世界陸上エドモントン大会へ出場。
- 3度目の世界陸上出場です。予選突破と日本記録更新をねらいます。

世界陸上 こぼれ話

●世界陸上で日本人選手メダル第1号は、第3回東京大会(1991年)の谷口浩美選手(男子マラソン)が獲得した金メダルです。

●そこから金メダルが3個、銀メダルが5個、銅メダルが9個の併せて17個のメダルを獲得しています。

●今回で世界陸上は11回目です。日本で開催されるのは第3回東京大会(1991年)以来、16年ぶりです。

●ちなみに次回の大会は2009年8月にドイツのベルリンで開催され、その後も2011年に韓国、2013年にロシアでおこなうことがすでに決定しています。

●日本人選手で複数個のメダルを獲得した選手は3人います。
男子ハンマー投の室伏広治選手(2001年エドモントン大会銀、2003年パリ大会銅)
男子400mHの為末大選手(2001年エドモントン大会銅、2005年パリ大会銅)
千葉真子選手は1997年アテネ大会10000mで銅、2003年パリ大会マラソンで銅と違う種目でメダルを獲得しています。今年は何人の日本人選手がメダルに手をかけるか期待しましょう！

TOPICS

■日本選手権10000m初優勝翌日の世界陸上ヘルシンキ代表選考会で、基準の優先順位では大森輝和の下だった三津谷祐が10000mの代表に内定と発表された。「勝負強さで選んだ」という陸連に対し、大森の所属するくろしお通信が抗議。※大森の現在の所属は四国電力。

その2週間後に三津谷の内定が取り消され、新たな基準で再選考という異例の事態が起こった。

大森はA標準を突破しており、三津谷はB標準しかきいていなかった。「このような結果になり残念だが、受け入れざるを得ない」という森下監督。三津谷自身も大きなショックを受け、精神的に落ち込み、「ボーっとして何にも集中できないときもあった」という。

大森とは同じ香川出身ということもあり、普段から仲が良いという。「2人で行けたらいいのに」と電話で話すこともあったという。大森が直接対決を回避したため、三津谷はチームメイトのサムエル・ワンジルとともにホクレンディスタンス深川に出場し、A標準突破を目指す。深川では、2800mすぎからワンジルがペースアップ。三津谷はこれに喰らいつき、ワンジルがペースを作りながらレースを展開。8000mで22分16秒とA標準突破がほぼ確実となり、残り700mでは、大森の「行けるぞ」の声に「はい」と応える場面も。ワンジルに引張られたまま、2位でフィニッシュ。タイムは大森のもちタイムを上回る27分41秒10。A標準突破を果たし、一度は取り消された代表の座を大森とともに代表入りという、一番理想の形で取り戻した。タイムは日本人歴代3位となる好記録。自己ベストを一気に19秒13更新した。

■2005年世界陸上ヘルシンキ…初めての世界陸上は19位。

■06年ニューイヤー駅伝を最後に試合から遠ざかる。「左アキレス腱、左ヒザ、右足底と、故障を繰り返したから。治ったと思って練習を再開すると、違うところが痛くなって。正直、試合を見に行きたくない時期もありました。でも、そうしているなかでも陸上が好きだと気づきました。」と本人。

■2007年シーズンに入り復帰。4月から試合に出始める。07年5月26日のゴールデンゲームズinのべおかで5000mに出場。日本歴代2位の13分18秒32を記録し、世界陸上大阪大会参加標準記録A(A標準)を突破。日本人選手として7年ぶりに13分20秒を切り、高岡寿成(カネボウ)が03年にマークした国内日本人最高記録を更新した。「B標準(13分28秒00)の予定でしたが、A標準(13分21秒50)も狙おうかな、という気持ちも内心ありました。」そして、「ヘルシンキ世界陸上の頃はまだ、外国人選手と壁があると思っていました。あれだけペースの上げ下げをされ、(違いを)見せられるとそうなりますね。今日、5000mで自己新を出せたことで、10000mでもゆとりをもって入ることが出来ますから、10000mにもプラスになります」と加えた。